

NTT データと共同で 事業所・マンション向け電力コスト削減対策診断サービスをスタート

2002年7月3日

あいおい損保（本社；東京都渋谷区、社長瀬下明）は、株式会社NTTデータ（本社；東京都江東区、社長青木利晴）と共同で「電力コスト削減対策診断システム」を開発し、7月よりサービス提供を開始しました。

今回の新たな法人向けサービスの拡充により、さらなる法人顧客の固定化・拡大を図ってまいります。

<開発の背景>

自由化の進展により、損害保険業界は、料率・商品のみならず、提供するサービス分野においても激しい競争にさらされております。当社としては、さらなる顧客固定化・拡大に向け、法人顧客の本業支援に繋がり、他社が提案しない全く新しい切り口のサービスが必要と考えました。

昨今の経済情勢の中、経営者のコスト削減に対するニーズは極めて高くなってきています。特に、電力につきましては自由化を背景にいろいろな手法によるコストセーブが可能となってきています。当社といたしましては本業支援の中の「コスト削減」の中で「電力コストの削減」に着目し、同分野にて豊富なノウハウを持つNTTデータ社と共同で、法人の電力コスト削減対策の診断サービスを開発することとしたものです。

<具体的サービス提供>

このサービスは、まずあいおい損保の代理店が法人の既存顧客、新規見込顧客を対象に建物用途別の簡単なアンケートを行います。代理店より回収したアンケートをNTTデータがWebで構築したサイトへアクセスしてアンケート結果を入力します。入力完了し「診断」を実行することにより、複数のコスト削減手法から顧客に最もあう削減策が診断レポートがその場で出力されます。この診断レポートにより、削減見込額等の詳細な診断を希望する顧客には二次診断を行ないます。さらに具体対策の実施を希望する顧客については実地測定（三次診断）含む具体対策の提案を行なっていきます。診断及び具体対策の提案は設備制御管理システムである「LONWORKS®（ロンワークス）」で豊富なノウハウを持つNTTデータ社が対応します。

まずは首都圏のマンション物件の診断からスタートしますが、マンションの場合で約30種類のコスト削減手法からその建物にあった手法が提案されます。診断結果次第では、NTTデータの開発した蓄電システム等の利用により110戸のマンションで年間約20%のコスト削減も可能となります。

8月以降サ - ビスの対象物件をビル、店舗、工場と順次拡大していくとともに電力コストの削減対策だけでなく、耐震・防犯対策の診断も行なっていく予定です。

以上